

大いなる飛躍へ



JA上川中央



今年も肌艶の良い
大根収穫スタート!!

2013

NO.66

発行・上川中央農業協同組合

愛別町本町125

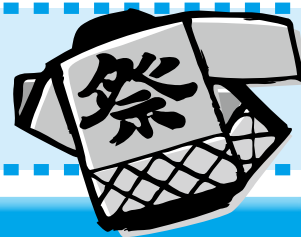
Tel(01658)6-5311

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>

編集・営農振興課

9

各所で愛別・上川をPR!!



農業試験場公開デーに特産品が集合



8月9日、上川農業試験場で第18回農と食の祭典が開催されました。当日は、各種イベントの他に当JAはじめ、比布町、当麻町の各JAと旭川農業高校が中心となり地元の特産品をPR販売しました。

愛別町からは、「きのこ焼きそば」「きのこの詰め合わせ」「ななつぼし」、上川町からは、「大雪高原牛」「プリン」「もち粉パン」などが品を揃えました。

今後も催事などを通して地元の美味しい味覚を多くの方にお届けしていきます。

「きのこ焼きそば」が東川町の祭りにも参加

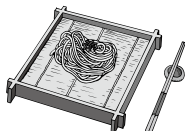
8月10～11日、東川町内で開催された「どんとこい祭り2013」に出店し、愛別きのこをPR販売しました。

どんとこい祭りのイベントは、水風船をぶつけ合う「水の乱」や花火などもあり、見てもやっても楽しめるお祭りです。沢山の来場者で賑わいました。

出店では「きのこ焼きそば」と「きのこつくね」をきのこ生産者が販売。あいにくの雨となりましたが、きのこを求めて来場されるお客様が現れるなど、2日間にわたる参加で愛別きのこのファンが着実に拡大していることが実感できました。



女性農業者が主役…大雪高原まつり



8月2日、Aコープ上川店駐車場で朝もぎ母さんの会が主催する大雪高原まつりが行われました。

上川町内の女性農業者が持ち寄った自慢の「朝もぎ野菜」と特産品「大雪高原牛」のサイコロステーキや先月販売された乾麺で話題になった「大雪そば」の手打ちも準備され、女性が主役となったお祭りが町を元気にしていました。

夏だ!お祭りだ!旬の味覚で盛り上げる…上川管内

農業パワーが地元の元気…あいべつ夏まつり開催



8月14日、愛別町ふれあい通りを中心に第20回あいべつ夏まつりが行われ、当JAも参加しました。

愛別町米麦生産振興協議会（土屋陽一会長）主催の餅まきが始まると、櫓（やぐら）から降る餅に会場内は興奮し、祭りムードが高まっていました。

JAでも、「なめこ掴み取り」や「愛別夏の陣」などへの催し協力の他に出店もあり、地元の祭りを一緒に盛り上げました。

出店では、焼き鳥やビールのほかに自慢の特産きのこを使った「きのこつくね」を販売、「きのこつくね」は愛別きのこを練り込んだ小判型のつくねを焼いたもので、ふっくらとジューシーな食感。楽しい食も提供できました。



第27回



2013.9.8.SUN

「きのこの里」 フェスティバル

会場：愛別ダム「きのこの里」広場

時間：AM10:00～PM2:30

お問い合わせは 愛別町産業振興課商工観光係 01658-6-5111





劇団四季『美女と野獣』で女子力UP… JA女性部愛別支部 一日研修開催



7月26日、JA女性部愛別支部の一日研修が開催され、部員39名で札幌方面へ出かけました。研修は「日高昆布しょうゆ」でお馴染みの福山醸造の見学と、劇団四季によるミュージカル「美女と野獣」を鑑賞しました。福山醸造では、しょうゆの製造工場を見学、日頃は見られないもろみの压榨の様子などを目と耳と鼻（香り）で研修しました。『美女と野獣』のミュージカル鑑賞では、劇団四季が創り上げる世界観を満喫、帰りのバスの中では「楽しかったヨ」など充実した一日研修となりました。

先進的取り組み…雪氷貯蔵施設/GAP そ菜振興協議会・畑作園芸振興会視察研修



7月22～23日、赤井川・札幌方面で愛別町そ菜振興協議会・上川町畑作園芸振興会合同の視察研修を行いました。

研修では2か所を訪問し、1か所目の（有）ごんご農産センター（赤井川村）では、圃場で栽培しているミニトマトなどを見学させていただいた後、敷地内にある雪氷貯蔵施設を見学しました。このセンターは生産から販売までを括して担う組織で、特徴のある農産物生産として特別栽培やGAPに精力的に取り組んでいます。

2か所目の札幌市場では、野菜の流通や「セリ」の様子を見学し、卸売の様子を学ぶことができました。

営農に欠かせない種苗や包装資材を学ぶ… 愛農機連視察研修開催



7月23日、滝川方面で愛別町農業用機械利用組合連合会の視察研修会があり、会員15名が参加しました。

研修先1か所目のホクレン包材株式会社（妹背牛町）では、会社の概要などの説明を受けた後、フレコンや樹脂袋、ハウスのビニール等の製造工程の様子を見学しました。

2か所目のホクレン滝川種苗生産センター（滝川市）では、水稻の種子調整工場と、敷地内にある「北のプラグ苗生産センター」で、野菜・花きのプラグ苗について説明を受け、施設内を視察しました。営農には欠かせないので、種子や包装資材の製造工程が学べ、有意義な視察研修となりました。

今月の顔

(同)チームアグリ
スカイサポート



菅原一樹さん

(同) チームアグリスカイサポート (TASS) は今年7月18日に発足した合同会社です。愛別・上川町内の水稲生産者23名が社員として、2町内で無人ヘリによる農薬散布事業にあたっています。代表社員の菅原一樹さん(金富地区)にお話を伺いました。



○なぜ愛別・上川合同で会社を設立することにしたのですか？

互いの組合で抱えていた課題を補えるからです。昨年までの愛別無人ヘリオペレーター組合(愛別)ではヘリの実質的な耐用年数の到来、東雲防除組合(上川)においてもヘリの機体交換を見据え、この機会に統合することで、コスト削減とよりきめ細かい対応ができるのではないかと考えました。

○発足して数週間が経過しましたが(8月上旬取材)、課題は出てきましたか？

今までであった各組織、または各チームのカラーをどのようにうまく統一していくかです。個々、チーム、更には組織と関係各所との連携と意思疎通が、安全運行上最も大事なことなので、これに主眼をおきたいと思います。

○現在行っている事業がヘリ防除のみだと伺いましたが、新たな事業を展開する考えはありますか？

当面はヘリ防除事業の向上に専念したいと思っているので、新しい事業については考えていません。ただ、地域でこれからを担う農家が全町で1つの事業をしていますから、今後何かうまく大きな形にできればと思っています。

東北の力をJA運営に活かす!
JA上川中央役員視察研修開催



8月19〜21日、役員視察研修が東北方面で行われ、役員13名が参加しました。はじめに山形県農業総合研究所で、最近話題になっている良食味水稲品種「つや姫」の栽培圃場を見学しました。続いて、本州最大規模の農業法人である(株)西部開発農産(岩手県北上市)でJA事業への要望などについて意見交換しました。

加えて、おとこの東日



本大地震で被害を受けたJA名取岩沼(宮城県名取市)で、津波被害を受けた農地の復旧状況の視察と、農地を集積している農業法人からお話を伺いました。また岩手県南三陸町で、被災者の方から震災の説明を受ける機会もありました。

話題の米「つや姫」や、大震災からの前向きな復興に努力している東北の方々と交流でき、大変有意義な研修になりました。今後の運営に活かすべく取り組んでいきます。

こんな出来事がありました



子供たちに農業の素晴らしさを…

7月22日、JA 青年部愛別支部の中山英人部長とJA 女性部愛別支部の藤原幸子部長が愛別町教育委員会を訪問し、大山教育長へDVDを寄贈しました。

このDVDはおととしからJA 上川地区青年部協議会とJA 上川地区女性部協議会が合同企画したもので、「きのこ」料理や生産者インタビューなどが収録されています。

子供たちに農業に興味を持っていただくため制作されたDVDは、今後小中学校の授業の教材として活用されることが期待されています。

特別栽培もち米の産地訪問

7月24日、きむら食品株式会社(本社:新潟県燕市)が産地訪問に訪れました。

きむら食品は「うさぎもち」に代表されるもち米を専門に加工する会社で、JA上川中央とは『特別栽培もち米』で取引いただいています。

当日は、新井組合長をはじめ水稻生産者を代表して土屋陽一さん(愛別地区)と中田康之さん(菊水地区)の参加もいただき、意見交換の中では「最近餅の消費が低迷しており、価格も厳しい情勢になっている」とのお話もあり、産地と実需とが協力して今後取り組む内容について確認されました。

その後、協和農産(協和地区)の圃場で今年の水稲の生育状況を一緒に視察しました。



“もしもの未来”から見えてくる やっぱり大切だね、日本の豊かな食と農 7

田畑がこれ以上減ってしまったら…

おいしい水が飲めなくなるの!?

豊かな水資源は田んぼが守っている
 田んぼに降った雨水や、稲作をするために張った水は、土にゆっくりしみこんでいきます。その水は細かい土の中を通るあいだに、よごれが取り除かれ、微生物の働きできれいになります。また、地中にしみこんだ地下水の多くは、時間をかけて川に還元され、下流域の生活用水や工業用水として、わたしたちの生活を支えています。

日本人の4人に1人が地下水を利用
 田んぼにはこうした地下水をはぐくむ機能があり、日本人の約4人に1人が、生活用水として地下水を利用しているといわれています(日本地下水学会)。しかし、TPPによって、政府は米の約30%が外国産に置きかわると試算しています。見方を変えると、田んぼの約30%が荒廃し、地下水やわたしたちの飲み水の供給にも、影響をおよぼすかもしれません。

(監修/東京大学大学院教授 鈴木宣弘)

農作業風景

大根収穫作業



上川町大根生産組合 (旭ヶ丘地区)

大根選果作業



JA 上川支所 大根共同選果場

加工用ほうれん草収穫作業



鉛口 裕二さん (金富地区)

加工用ほうれん草は、普段私たちがスーパーなどで目にするほうれん草よりも葉が厚く、冷凍食品として加工され旭川方面へ出荷されています。今年初めて作付した鉛口さんは「他の野菜と比べて栽培管理がしやすいと思い始めてみたが、除草剤を散布しなかったため雑草処理に苦労した。来年は雑草のことも念願において管理していきたい。」と難しさも口にしていました。

するーらいふ

マハメド・オマル・アブディンはアフリカスーダン生まれの留学生である。日本で
の生活も長くなり、舌を巻くような巧みな日本語で、1冊の本を出版した。

弱視から全盲になりかかった頃、故郷スーダンで見つけた日本への留学生募集に応募して、難関を突破して来日していたのである。

故郷で日本語専攻の土壤などなく、ただただ未知の国・日本を目指したのである。その留学の本来の趣旨は、外国人への鍼灸の専門知識養成と、国家資格取得であった。

祖国スーダンの親を納得させ、青年はひとり不安を胸に成田空港に降り立った。「わが盲想」の本のタイトルから分かるように、ウィットに富んだ日本語を操るまでに、彼は成長した。しかし、目が不自由で日本語にも馴染まず来日した青年の苦悩は計り知れないものだった。スーダンの公用語はアラビア語である。英語能力もそれなりしかない。

日本語の未熟さや、鍼灸専門用語のちんぷんかんぷんから想像された一回目の不合格。

故国への帰還かと思った処へ、優しい助け舟が現われた。日本海の福井市にある盲学校への入学許可が下りたのだ。

日本国内の試験を受けるにあたっての日本語力の向上、それを土台にした点字解読能力の取得。かれは雪国に因んで、「雪の上にも三年」と後に振り返るほど、机に向かった。

教師が粘土に書いた漢字を、毎日手でなぞった。漢字の組み立て方を理解し始めた。専門用語の意味が、少しずつ溶け込んで来た。そうして自信が膨らんできた。卒業時に受けた鍼灸国家試験、彼はその扉を自分の力でこじ開けた。彼はここで留まらなかった。

音声ソフトを組み込んだパソコン技術の取得へもダッシュした。その意気込みは更に進化した。故郷スーダンを考える「アフリカ地域研究」の大学ゼミに参加し、現在はその大学院で研究を続けている。

その傍ら「スーダン障害者教育支援の会」を立ち上げ、故国の若者をサポートしている。

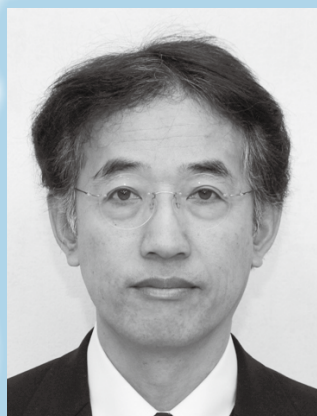
スーダンでは親戚同士での結婚は一般的で、子供が障害をもって生まれる可能性が、日本よりも高いという。彼が見えない目で見た、日本の風土をどう祖国に生かすか、すごい彼ならこそ、興味津々である。

※このコラムは連載です。





■ 職場からこんにちは！



営農振興 課長
須賀成浩

『JA何でも係』という気持ちで…

本年度の機構改革により本所営農販売課が2課体制となったということで営農振興課の面々を紹介します。

仕事は多種多様で下部組織の事務局や青色申告・JA便りの発行、補助事業の申請など組合員の皆様とかかわりの多いところで、通称『JA何でも係』という気持ちでスタッフ8名が取り組んでいます。

尚、本年度4月から堆肥センターの運営管理も任せられ土づくりの大切さと難しさを痛感しております。

JA便りやホームページ(ブログ)に組合員皆様のホットな情報を掲載しますのでどんどん連絡をください。振興課の頼れる新人が取材に伺います!!!



課長補佐
中川清



調査役
児島勝司
(愛別地区農地再編事業推進室出向)



係長
多羽田雅哉



主任
齋藤佐代子



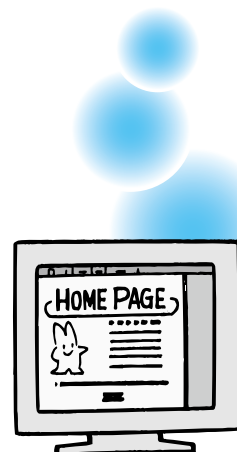
係
日谷真一



係
西野智美



(準)
黒田武
堆肥センター勤務



組合員資格の確認について

平素より、当組合の事業運営にご理解・ご協力・ご利用を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年2月に「農業協同組合等向けの総合的な監督指針」が施行され、組合員の資格確認が必須となり、併せて当組合の定款第15条（資格変動の申出）により組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくこととなっております。

つきましては、組合員資格区分・住所・氏名・勤務地等に変更・修正があった場合は、お手数ではございますが当組合本所または支所にて手続きをお願い申し上げます。

なお、当組合の地区内とは、愛別町・上川町の区域となっており、組合員資格はつぎのとおりとなっております。

正組合員資格

- 1 50アール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にあるもの
 - 2 1年のうち90日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
 - 3 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの
- ※農用地利用改善事業実施団体の構成員に係る組合員資格の特例
 農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用改善事業実施団体の構成員であるもののうち、当該利用権の設定前に又は設定後遅滞なくこの組合に申出をし、理事会において確認を受けたものは、引き続きこの組合の正組合員とする。

准組合員資格

- 1 当組合の地区内に住所があり、当組合の事業を利用することが適当と認められる個人
- 2 勤務地が当組合の地区内にあり、資金の借入、貯金・定期積金、生産資材・生活物資の購入、共済加入のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 3 住所が当組合の地区外にあり、生産資材・生活物資の購入、生産する物資の運搬・加工・貯蔵・販売又は特定農地貸付のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 4 この組合の地区の全部又は一部を地区とする農業協同組合
- 5 農用地利用改善事業を行う団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの
- 6 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

正組合員・准組合員資格のいずれにも該当しない場合は、申し出が必要となりますので、本人確認が出来る公的書類（住民票・運転免許証・健康保険証等）・印鑑を持参の上、本所総務課または支所管理係までお越し頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<<問い合わせ先>>

上川中央農業協同組合 本所総務課 01658-6-5311 支所管理係 01658-2-1111



Information

総務課からのお知らせ

JA出資配当金支払いにおける復興特別所得税の取扱いについて

平成23年12月2日に公布された「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、平成25年1月1日より「復興特別所得税」が課税されることとなります。

所得税全体を対象とし、「平成25年（2013年）1月1日から平成49年（2037年）12月31日までの25年間にわたり、所得税額に対して2.1%を課す」というもので、JA出資配当金支払いの際に生じる源泉所得税につきましても、次の通り「復興特別所得税」が徴収されます。

所得税及び復興特別所得税：20.42%
 （所得税率20%＋（所得税率20%×復興特別所得税率2.1%））

?まちがいさがし?

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を探しましょう。



先月の答え

- 2…入道雲の高さが違う
- 4…すだれの長さが違う
- 5…男の子の目線がセミから犬に向かっている
- 8…チョウがいなくなっている
- 11…服のかき氷柄がソフトクリームになっている

お世話になりました

高橋 悠策

購買経済課愛別給油係

(8月16日付)

組合員のうごき

(平成25年8月22日現在)

正組合員戸数	398戸
組合員数	2,649名
うち正組合員数	618名
うち正団体数	36団体
うち准組合員数	2,031名
うち准団体数	73団体

302827 日 日 日	26 日	24 日	22 日	19 日	1614 日 日	10 日	9 日	8 日	7 日	5 日	2 日	1 日
外国人実習生面接(〜2日 中国山東省 大雪高原まつり)(上川) 全国監査機構監査(〜9日) 第6回農家経済対策委員会 第1回JA上川地区女性部研修会 (農業会館) 第18回農産物の祭典(上川農業試験場) 2013ひがしかわ(〜11日 東川) 第20回あいへつ夏まつり 臨時企画会議 第7回農家経済対策委員会 第1回JA上川中央フンド推進専門部会 平成25年度役員道外視察研修 (〜21日 東北方面) 第7回定例理事会 町内作況視察 内部審査(〜23日 購買経済課 上川) 上川地区組合員大感謝祭 (支所事務所前駐車場) コープさつぽろ産直交流会(愛別・上川) 愛別町米麦生産振興協議会・JA青 年部合同町外視察研修 内部審査(〜29日 購買経済課 愛別) 第2回JA上川中央フンド推進専門部会 愛別地区組合員大感謝祭 (蔵の裏イハント広場)												

農機センター 農繁期 休日対応のお知らせ

9月15日(日)	16日(月・祝)	22日(日)	23日(月・祝)
時間：8:30～12:30			
日直制で対応します。			
電話：6-5004			

- 報告事項
1. 組合員の脱退について
 2. 農家経済対策委員会の報告について
 3. 酪農畜産草地更新事業の参加申込みについて
 4. 行政に対する要望意見書について
 5. 要領の制定並びに一部改訂について
- 議事
1. 組合員の加入報告並びに組合員資格について
 2. 組合員の相続並びに譲渡について
 3. 第2四半期見直し計画について
 4. 燃料手当の支給について
 5. 固定資産の売却について
 6. 平成25年産米出荷・検査・受入基本方針について
 7. 平成25年産米概算払い単価の決定について
 8. 運送委託契約の締結について
 9. 長期資金の融資について

第7回理事会

平成25年8月22日

今月号の表紙

大根収穫スタート

上川町大根生産組合

Information

Aコープ&愛ちゃん号からのお知らせ

もっと身近な移動販売車…Aコープあいべつ店直営になります

9月2日(月)より、NPOあいねっと(委託)からAコープ愛別店直営となり、もっと身近な愛ちゃん号(移動販売車)として運行します。
 詳しい内容は、Aコープ愛別店までお問合せ下さい。

■運行表(9月2日～)

月曜日	町内・東町地区
火曜日	中央・愛山地区(愛山店営業)
水曜日	愛別・豊里・上川地区
木曜日	金富・厚生・伏古・協和地区
金曜日	中央・愛山地区(愛山店営業)



愛ちゃん号ドライバー 高橋 芳勝

Aコープ愛山店の営業内容が変わります

■営業日・営業時間(9月2日～)

営業日	週3日営業(火・水・金)	→	週2日営業(火・金)
営業時間	2時間営業(13～15時)		1時間営業(13～14時)

※Aコープ愛山店と移動販売車(愛ちゃん号)で、もっと身近な安心をお届けします。